学校番号	323

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	詳説日本史（山川出版）						
副教材等	詳説日本史図録（山川出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古代から近世までを通して、歴史の流れの大きな概観をつかむ。
・日本の歴史と世界の歴史（特に東アジア史）を、相互に関連づけながら理解する。
・日本史の学習を通して、現代の日本と日本人の課題や、あるべき姿を考えて、自分の言葉で表現する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
古代から近世までの日本の歴史について、基本的知識を身に付けて相互の関連性を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
日本史の多様な資料を精読することにより、歴史的な思考力を培う。
現代の出来事を、歴史の事象と結び付け、歴史的視点から比較・考察・表現することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
日本の歴史を学習することにより、日本独自の文化や伝統を背景に、世界の中での日本と日本人の資質やあるべき姿を、自分なりの価値観に基づいて構築する。また、現代を生きる人間として歴史から学ぶ姿勢を大切にする。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	原始から近世までの日本の歴史についての基本的な知識を身につけ、その相互の関連を理解している。	各時代の概観を深く思考し、現代日本のさまざまな課題を歴史的観点から、過去にさかのぼって考察し、その過程や結果を適切に理解し、文章などで表現できている。 また、歴史資料を自分なりに読み解き、そこから考えられることについて他の生徒と意見を交換している。	原始から近世までの日本の歴史に関する関心を高め、意欲的・能動的に探求する態度を培い、それを通して世界の中での日本人のあるべき姿を考える。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期中間	原始・古代、飛鳥朝、律令制、平安の貴族政治、院政、鎌倉	・農耕文化の始まり ・古墳とヤマト政権、飛鳥の朝廷	a 原始時代から飛鳥朝に至る流れを意欲的に考察して理解している。 b ヤマト政権～飛鳥朝成立に至る過程について、各種資料をもとに思考を深めている。また、その時代背景などについて自分で説明をすることができる。 c 日本の古代史について学習した内容をもとに、政治、文化、人物などについて自分で調査して、まとめることができる。	考査	考査 提出物	提出物 発表
1学期期末		・律令国家の形成と平城京の時代　天平文化 ・平安朝廷の形成 ・摂関政治　国風文化	a 律令国家の形成について、政治制度や文化を近隣諸国との関係と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。 b 平城京～平安京の時代の政治制度や文化について、各種資料をもとに思考を深めている。また、その時代背景や影響などについて自分で説明をすることができる。 c 奈良時代、平安時代の政治、文化、人物などについて、それ以前の時代と比較をしながら自分で調査して、まとめることができる。	考査	考査 提出物	提出物 発表

2学期中間		･院政と平氏の台頭 ･鎌倉幕府の成立 ･鎌倉文化	a 中世社会の始まりと展開について、武士の登場というテーマに沿って歴史の流れを理解している。 b 武家政権の樹立について、各種資料をもとに思考を深めている。また、その時代背景や文化への影響などについて自分で説明をすることができる。 c 中世社会の文化について、特に宗教や思想のテーマについて自分で調査して、まとめることができる。	考査	考査 提出物	提出物 発表
2学期期末		・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化	a 室町幕府の成立とその支配体制について、鎌倉時代と比較してその特徴を理解することができる。戦国大名の領国統治について、それぞれの特色を理解している。 b 室町幕府の支配体制の動揺について、守護大名や民衆との関係から原因を考察して説明をすることができる。また、文化への影響について、資料や写真から読み解くことができる。 c 中世社会～近世社会の成立に至る時代の政治や文化、人物について自分で調査して、まとめることができる。	考査	考査 提出物	提出物 発表

3 学 期		・戦国大名の台頭 ・織豊政権の成立 ・安土桃山文化と織豊期の経済発展	a　戦国大名の成立過程と独自の政治体制について理解している。 b　織豊政権の成立から江戸幕府成立に至る歴史について、室町時代と異なる点や外国文化の影響などから考察して流れを理解している。 c　織田信長や豊臣秀吉の政治について、各種資料からその狙いを考察して、説明することができる。	考査	考査 提出物	提出物 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度